

二〇二五年二月二四日

慈しむ穢れなきまま落つ椿  
春の雪 発掘現場埋めけり  
一と色になりて 機嫌や風車

よし女  
明日香  
澄子

二〇二五年二月二三日

春日 燦病窓の吾を抱擁す

康子

春寒の胸押し付けるレントゲン

もところ

雪搔きの老軀を癒やす露天風呂

わたる

古町の褪せし看板 春埃

うつき

春一番蓋の羽ばたくランドセル

康子

涅槃図の百足S字に身悶へて

たか子

二〇二五年二月二二日

馥郁と洩るる呉春の蔵うらら

うつき

ケアハウス窓に手作り折雛

康子

白息を吹きつつ 熱き番茶飲む

なつき

処女雪にしるき二本の轍かな

こすもす

春泥をうちこぼし混む定食屋

なつき

二〇二五年二月二一日

白息を重ね合ひ誦す縁起版

よし女

リハビリに揉むポケットの懐炉かな

うつき

緑酒酌み憂国談議紀元節

澄子

二〇二五年二月一〇日

春天へ牧師の快癒祈りけり  
銀輪も靴も脱ぎ捨て野に遊ぶ  
凍つ朝の背中を伸ばすストレッチ  
朝市のおまけにくれし島檸檬

せいじ  
あひる  
なつき  
むべ

二〇二五年二月九日

堆く屋根に雪積む露天風呂  
春の日にあくびせるごと鯉の口  
恐竜も春の雪積む福井かな

山椒  
康子  
もところ

二〇二五年二月八日

降る雪に天の手心祈りけり  
漬物の石までしみる寒さかな  
箒目の波にのりたる落椿

よし女  
わたる  
康子

毎日句会みのる選・二〇二五年二月一六日